

大阪公立大学（仮称）学長予定者の選考について

地方独立行政法人法では、学長の任命は「選考会議の選考に基づき、理事長が行う。」とされているが、新大学の学長の任命においては、法に基づく「学長選考会議」は必置ではない。しかしながら、選考過程の透明性を確保するため、理事長の諮問機関として「新大学学長予定者推薦会議」を設置し、推薦会議より選出された最終候補者から、理事長によって新大学学長予定者が決定された。

以下は「新大学学長予定者推薦会議」による学長候補者選考の経緯と最終候補者の選考理由である。

新大学学長予定者推薦会議

【学長候補者選考の経緯】

※すべて令和2年度

新大学学長予定者推薦会議の開催 第1回（6月18日）、第2回（6月30日）	新大学学長候補者の選考方法の検討
新大学学長候補者の推薦募集を公示 （7月8日から8月14日）	他薦による候補者の推薦を受付
新大学学長予定者推薦会議の開催 第3回（8月24日）、第4回（9月3日）	新大学学長候補者の書類審査および面接審査の実施
最終答申の実施 （9月8日）	推薦会議から理事長へ最終候補者の答申を実施

【最終候補者選考理由】

辰巳砂 昌弘氏は、人格が高潔で、学識に優れ、国際的な視野を持ち、40年以上にわたる大学人としての豊富な経験を有している。また、教育者としてはもとより、全固体電池研究の第一人者としても、日本国内にとどまらず世界的にも著名な研究者として申し分のない実績を有する人物である。

2019年4月からは、大阪府立大学の学長として強いリーダーシップのもと大学運営に取り組んでおり、併せて公立大学法人大阪の副理事長として法人経営にもその能力を発揮している。両大学の歴史と伝統を守りつつ、新たな大学を創出していくという強い信念をもって両大学を先導し、その誠実な人柄は両大学の垣根を越えて幅広い信頼を得ている。

新大学を世界レベルの高度研究型大学として発展させる強い意志と明確なビジョンを持っており、魅力ある新大学の実現に向けその手腕に大いに期待するところである。

以上のことから、辰巳砂 昌弘氏を新大学の学長を担うにふさわしい人物と判断し、大阪公立大学学長最終候補者として選出した。

【委員名簿】

外部委員（経営審議会委員）

生野 弘道	社会医療法人弘道会 理事長
大西 珠枝	玉川大学芸術学部 元教授
土屋 隆一郎	西日本旅客鉄道株式会社 元代表取締役副社長
福島 伸一	株式会社大阪国際会議場 代表取締役社長

内部委員（大阪府立大学教育研究審議会委員）

辻 洋	公立大学法人大阪理事
高橋 哲也	大阪府立大学副学長

内部委員（大阪市立大学教育研究審議会委員）

平田 一人	公立大学法人大阪理事兼 医学部附属病院長
橋本 文彦	大阪市立大学副学長

以上